

中国における高齢者の生涯学習に関する公共図書館の役割  
— 杭州図書館を事例として —  
Roles of Public Libraries for Chinese Seniors' Lifelong Learning:  
The Case of Hangzhou Public Library

学籍番号: 201721715

氏名: 盧 仁吉

Renji Lu

中国では高齢化が進行しており、経済、政治、社会、文化などの側面に大きな影響を与えている。2012年には、中国政府が高齢者に関する文化建設と高齢者の精神的なニーズの重要性を指摘している。このニーズの充足に対し、生涯学習がその一助となると考えられる。加えて、無料で誰でも利用が可能であり、情報・文献の提供を主な活動とする公共図書館は、この生涯学習に適した施設であると考えられる。

これらを踏まえ、本研究では、高齢化が進行している中国で求められる公共図書館の役割を再考することを目的とする。生涯学習の視点から、今後の利用者として公共図書館との協働および公共図書館における高齢者サービスを検討する。

研究方法として、生涯学習や公共図書館の高齢者サービス、協働に関する現状を明らかにすることを目的とした文献調査と、公共図書館における生涯学習の意識や高齢者プログラムの現状を明らかにすることを目的とした事例調査を、杭州図書館を対象として実施した。

文献調査の結果から、中国では高齢化によって生まれる負の影響が懸念されており、負の影響のうち高齢者の精神的なニーズの充足について生涯学習がその一助となる可能性があることが明らかになった。また、アンケート調査から、公共図書館が高齢利用者の需要を満たす高齢者サービス・居心地の良い空間を提供している可能性が示唆された。また、一部の回答者が公共図書館で生涯学習を実践の自覚が見られなかった。加えて、インタビュー調査から、一部の図書館員は、高齢者サービスを行っているという認識や公共図書館が生涯学習に関する施設の1つであるという自覚を持っていなかったことが明らかになった。その一方で、高齢利用者が主催者である高齢者プログラムの実施を通じて、高齢利用者は自己実現の達成や他者との交流を実現させ、自らの生涯学習の実践としてプログラムを位置付けていることが明らかになった。

これらを踏まえ、中国における高齢者の生涯学習に関する公共図書館の役割について、高齢化社会における生涯学習という観点から、①高齢化が進行している中国において、公共図書館が生涯学習を促進する役割を担う施設の1つであることを再確認した。また、②生涯学習における集団学習の形式である協働は、社会参加や他者との交流を促し、社会的な役割を補完する可能性があることを指摘した。

研究指導教員: 呑海 沙織

副研究指導教員: 溝上 智恵子